



デジタルハリウッド大学大学院 [DHGS]  
白井 暁彦 客員教授 著  
「AI とコラボして神絵師になる  
論文から読み解く Stable Diffusion」  
出版記念イベントを開催

2022年12月2日(金) 19:30-21:00

(要予約 / 無料 / オフライン & オンライン同時開催)

【出版記念イベント × デジタルハリウッド大学大学院公開講座】

デジタルコンテンツマネジメント学から見る  
AI画像生成



日時/会場

12月2日(金)

19:30~21:00

@デジタルハリウッド大学  
駿河台キャンパス  
(ZoomLive配信あり)

無料・要予約



白井 暁彦

デジタルハリウッド大学大学院 客員教授  
「AI とコラボして神絵師になる  
論文から読み解く Stable Diffusion」 著者



草原 真知子

デジタルハリウッド大学大学院 特命教授

21世紀からの超高度情報化社会において、デジタルコミュニケーションを駆使して、社会に対する「変革」を起こす人材を輩出するために設立された社会人のための専門職大学院であるデジタルハリウッド大学大学院(東京都千代田区、学長:杉山知之)では、新刊書籍『AI とコラボして神絵師になる 論文から読み解く Stable Diffusion』(2022年10月28日刊行)の著者であり、本学大学院で「テクノロジー特論 D(人工現実)」を務める白井暁彦客員教授と、本書の執筆を支えた「先端芸術原論」を担当する草原真知子特命教授による出版記念イベントを開催いたします。

【書籍概要】

著者:白井 暁彦

小売希望価格:電子書籍版 1,600円(税別) / 印刷書籍版 2,000円(税別)

電子書籍版フォーマット:EPUB3





印刷書籍版仕様：B5／カラー／本文 116 ページ

ISBN：978-4-295-60138-8

発行：インプレス R&D

### <発行主旨・内容紹介>

本書は、今話題沸騰中の AI による画像生成の仕組みや使い方について、中学生でも理解できることを目指し、わかりやすい説明で紹介した解説書です。難しい数式を全く使用せずに AI 画像生成技術の最先端を科学コミュニケーターである著者がやさしい口調で解説しています。またより深く知識を得たい読者のために、Python でのサンプルコード、プロンプトの基礎や出力例、AI 画像生成の法的な側面、実際の仕事で使ったユースケースも掲載。表紙イラストも AI で生成しており、担当イラストレーター・852 話氏と著者の対談も掲載しています。先端技術を使いこなして、AI 神絵師になるための「冒険の書」です！



### 【イベント概要】

2022 年 8 月に公開され話題となった画像生成 AI・Stable Diffusion を中心に、2 か月というスピードで発行された解説書「AI とコラボして神絵師になる 論文から読み解く Stable Diffusion」。その出版記念イベントとして、著者であるデジタルハリウッド大学大学院白井暁彦客員教授に登壇いただきます。今回は、本書の執筆の際にメディアアート史の観点から協力された同大学院草原真知子特命教授にも登壇いただき、技術だけでなくメディアアートや文化、人類の表現の未来、デジタルコンテンツマネジメント学の視点からもお二人に語っていただきます。

「デジタルコンテンツマネジメント学から見る AI 画像生成」

日時：2022 年 12 月 2 日（金）19:30-21:00

参加費：無料 / 著者サイン本販売会あり(オフライン会場のみ)

#### 参加方法：

オフライン：デジタルハリウッド大学 メディアライブラリー / 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ アカデミア 3F / 定員 20 名

オンライン：Zoom ウェビナー / 参加 URL は申し込み後にご案内します / 定員 100 名

イベント詳細・申し込み：<https://gs.dhw.ac.jp/news/2022-12-02/>

#### テーマ：

- ・画像生成 AI とのコラボの実演
- ・「AI とコラボして神絵師になる」書籍の紹介
- ・デジタルコンテンツマネジメント学のこれから
  - ・書籍執筆を通じた社会実装
  - ・文化的視点から見る「画像生成 AI」
  - ・AI の技術により人類がどこに向かっているのか？
- ・DHGS 大学院講義紹介





### 【登壇者紹介】

#### ■白井 暁彦 客員教授

デジタルハリウッド大学大学院担当科目：テクノロジー特論 D(人工現実)、研究実践科目(ラボプロジェクト)「超メタバース・エンターテイメント・ラボ」

REALITY 株式会社でメタバース時代の UX を研究開発する「GREE VR Studio Laboratory」ディレクター。VR エンタメの研究者・クリエイターとして長い経験を持つ博士(工学・東京工業大学)。日本バーチャルリアリティ学会評議員。

書籍「白井博士の未来のゲームデザイン」(2013 年・オーム社刊)、「白井博士の未来のゲームデザイン - エンターテインメントシステムの科学」(2013 年・ワークスコーポレーション刊)で未来予測を書き綴り、「創る人を創る」をモットーに活動する。ゲーム開発者・放送技術・フランスでの VR 地域振興・日本科学未来館科学コミュニケーター・デジタルハリウッド大学大学院客員教授など VR エンタメの研究開発・産業・体験・SNS など多様な活動を行う。

2018 年よりグリーグループのライブエンターテイメント分野への事業拡大から Wright Flyers Live Entertainment の立ち上げ、および「REALITY」を開発運営するメタバース企業 REALITY 株式会社の立ち上げに参加する。国際レベルで重要となる知財開発や学術的挑戦、PoC/UX 開発と発信、オープンソースソフトウェアや日本語コミュニティへの貢献、人材発掘/開発を担当。また B2B 向けメタバースソリューション「REALITY XR cloud」を通して企業向けのコンサルテーションなどを行っている。本書は業務外の社内部活動「グリー技術書典部」で夏の自由研究として生まれた。



#### ■草原 真知子 特命教授

デジタルハリウッド大学大学院担当科目：先端芸術原論、特別講義 J  
メディアアート・映像文化史研究者。ICU 卒、博士(工学・東京大学)。フリーランスとして活動後、東京工芸大学、神戸大学、UCLA を経て早稲田大学文学学術院／文化構想学部教授、現在は早稲田大学名誉教授、日本大学大学院芸術専攻非常勤講師。1980 年代前半に CG とメディアアートのキュレーションと評論を始め、筑波科学博、世界デザイン博等の展示や東京都写真美術館、NTT/ICC の設立に携わる。SIGGRAPH、アルス・エレクトロニカ、文化庁メディア芸術祭、広島国際アニメーションフェスティバル他の審査委員を歴任。デバイスアート、幻燈、パノラマなど芸術と技術と文化の関係をテーマに国内外で講演や出版多数。最近では明治期のエンターテインメントを通じて社会の変化を分析した論文“The Panorama in Meiji Japan: horizontal and vertical perspective”が論文誌 Early Popular Visual Culture のメディア考古学特集号に掲載された(2022 年 2 月)。芸術科学会賞、文化庁メディア芸術祭功労賞受賞、日本バーチャルリアリティ学会評議員。



#### ■本イベントに関するお問い合わせ先

デジタルハリウッド大学大学院事務局  
daigakuin@dhw.ac.jp





# PRESS RELEASE

Digital Hollywood 2022

**dhu**

<https://www.dhw.ac.jp/>

## 【デジタルハリウッド大学大学院について】



日本初の株式会社立の専門職大学院として 2004 年に開学。

超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく、創発的学究領域 SEAD (Science / Engineering / Art / Design) の 4 要素をバランス良く身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のアイデアの実装およびスタートアップ支援により、「令和 3 年度大学発ベンチャー調査」(経済産業省)では全国大学中 12 位、私立大学中 4 位となっており、多数の起業家を輩出している。

URL: <https://gs.dhw.ac.jp/>

本大学院では、本学在籍の院生・修了生の起業・事業支援に注力しております。デジタルコミュニケーション領域での産学協同研究にご興味をお持ちの方、本学への入学を検討されている方、また企業の皆様は下記よりお気軽にお問合せください。

## 【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室: 川村

mail: [press@dhw.co.jp](mailto:press@dhw.co.jp)

TEL: 03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト: <http://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース: <https://www.dhw.co.jp/press-release/>

